

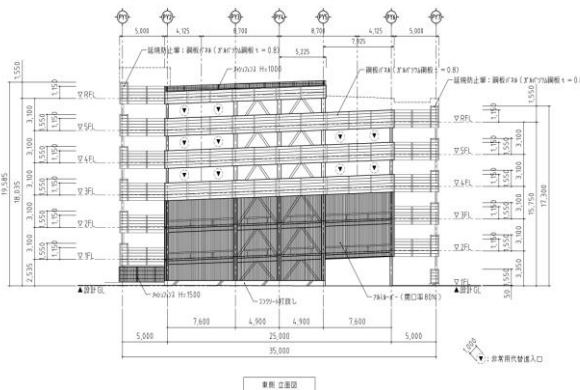
CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

建物名称	(仮称)東大通2丁目自走式駐車場計画
建設地	中央区 東大通2-59-3
用途地域	商業地域、準防火地
建物用途	工場
竣工年	2016年9月 予定
敷地面積	1,429.24 m ²
建築面積	1,054.42 m ²
延床面積	5,301.79 m ²
階数	地上5F
構造	S造
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2016年3月1日



2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{33.1}{32.4} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価アイコン	項目名	コード	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.6		バリアフリー	Q2.1.1.3	4.0
			維持管理	Q2.1.3	-
			更新性	Q2.3.3	3.2
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	2.8		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	2.5
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1	-
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.5		節水	LR2.1.1	-
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	4.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	1.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	2.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	1.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

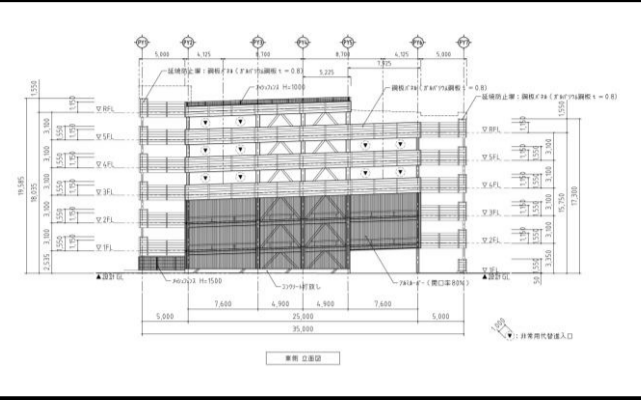
LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。
 省資源への貢献として、建材再利用性(グリーン購入法適合建材内装や設備の資材分別容易性、解体時の資材分別容易性)
 汚染物質回避(発泡断熱材不採用)に配慮している。
 前面道路低層部にアルミルーバーを配して、周辺のまちなみに配慮している。

CASBEE[®]新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東大通2丁目自走式駐車場計画	階数	地上5F
建設地	新潟県新潟市中央区	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年9月 予定	評価の実施日	2016年3月1日
敷地面積	1,429 m ²	作成者	日成ビルド工業株式会社建築設計事務所
建築面積	1,054 m ²	確認日	
延床面積	5,302 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	71%
③上記+②以外の	71%
④上記+	71%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	特になし	その他
Q1 室内環境	—	Q2 サービス性能 将来の更新性(仕上材・設備配管などの建材資材の耐久性)に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	—	前面道路低層部にアルミルーバーを配して、周辺のまちなみに配慮している。
LR1 エネルギー	LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 省資源への貢献として、建材再利用性(グリーン購入法適合建材内装や設備の資材分別容易性、解体時の資材分別容易性)、汚染物質回避(発泡断熱材不採用)に配慮している。
LR3 敷地外環境	—	敷地外環境への負荷軽減のため、地域インフラへの負荷抑制(駐車場の確保、漏れ光による光害)に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される